

令和5年度
水槽付き消防ポンプ自動車
仕様書

八幡市消防本部

第1 総則

1 目的

この仕様書は、八幡市消防本部（以下「本部」という。）が令和5年度に購入する水槽付き消防ポンプ自動車（Ⅱ型）の機装及び資器材等について必要な事項を定める。

2 概要

この車両は、ダブルキャブ付シャシに消防用器材とA-2級消防ポンプ及び圧縮空気泡吐出装置（以下「CAFS装置」という。）を装備し、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし、一般火災に対し速やかに活動できるものとする。

3 適合法令等

1 車両は、この仕様書に定めるほか、次に掲げる法令等に適合し、かつ、緊急自動車として承認が得られるものであること。

- (1) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (2) 道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）
- (3) 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）
- (4) 日本消防検定協会の定める「消防用車両の安全基準について」
- (5) 日本消防検定協会の定める「圧縮空気泡消火装置の技術基準について」
- (6) その他の関係法令等

2 車両は、日本消防検定協会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、品質確保、環境対策の配慮からISO9001、ISO14001認証取得による品質環境管理システムによって製造が行なわれていること。

第2 提出書類

1 承認図書

受注者は、契約後速やかに当本部と細部打合せを行い、次の書類（A4版に製本）を2部提出し、承認を得ること。なお、提出する図書等は、すべて日本語のものとする。

(1) シャシ関係

- ア シャシ諸元明細書
- イ シャシ組立図
- ウ シャシ重量分布図
- エ キャブ架装図及び組立図
- オ キャブチルト装置関係図
- カ ポンプ駆動用動力取出装置図
- キ 電気配線図
- ク バッテリー引出装置関係図
- ケ ガバナー関係資料
- コ シャシ番号及びエンジン番号表

- サ エンジン性能試験成績表
- シ 消防用エンジン性能試験成績書の写し
- ス トラックカタログ

(2) 艀装関係

- ア 艀装諸元明細書
- イ 全般艀装図（外観5面、ボックス内艀装図、キャブ内艀装図）
- ウ 車体組枠図（補強材料及び組枠寸法図）
- エ 消防ポンプ関係図
- オ ポンプ架装図及びポンプ関係配管図
- カ 動力伝達装置関係図
- キ ホースカー積載装置図（油圧系統図を含む）
- ク 電気配線図 配管系統図
- ケ 三連梯子及びカギ付はしご架装図及び器材収納庫資器材架装図
- コ 諸元明細書（取付品及び附属品のメーカー・型式一覧）
- サ 圧縮空気泡吐出装置
- シ 屋上自動上昇式発電照明装置関係図（操作盤を含む）
- ス 取扱説明書
- セ 消防車カタログ

(3) その他

- ア 製作工程表
- イ 受注者における自主点検体制が確認できる図書
- ウ その他当本部が指示するもの

2 完成図書

受注者は、車両の納入に際して、前記1の承認に係る図書を中間検査予定日のおおむね10日前までに2部及び納入時に次に掲げる書類等を提出すること。

- | | |
|-------------------------------|----|
| (1) 自動車改造計算書 | 2部 |
| (2) 車両重量実測表及び計量証明書 | 2部 |
| (3) 転覆角度実測証明書（車両安定傾斜角度測定表） | 2部 |
| (4) 消防ポンプ性能試験成績表 | 2部 |
| (5) 消防ポンプ自動車受託試験結果表 | 2部 |
| (6) 各種取扱説明書 | 2部 |
| (7) ポンプ取扱説明書 | 2部 |
| (8) 分解整備に必要な資料（整備要領書、パーツリスト等） | 2部 |
| (9) 性能評定書（圧縮空気泡吐出装置） | 2部 |
| (10) シャシ取扱ハンドブック | 2部 |
| (11) 納品書及び納品明細書 | 2部 |
| (12) 自動車検査証 | 1部 |

(13) 自動車損害賠償責任保険証書（24ヶ月）及び領収書	1部
(14) 重量税領収書及びリサイクル券	1部
(15) 緊急自動車届出確認書	1部
(16) 保証書（積載品含む）	1部
(17) 受注者の自主点検結果書	1部
(18) 製造工程カラー写真（シャシから完成車まで）	1部＋データ
(19) その他当本部が指示するもの	必要数

第3 艤装

1 完成車両の寸法及び重量

(1) 全長	8.0m以下
(2) 全幅	2.4m以下
(3) 全高	3.4m以下
(4) 車両総重量	12t未満

2 艤装上の留意事項

外観艤装は丸みを帯びた形状（シャッター面は上方傾斜、スカートBOXは下部を内側傾斜）とし、嵩上部等、車両に一体感のある形にすること。

- (1) 車両は、日本消防検定協会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、品質確保、環境対策の配慮からISO9001、ISO14001認証取得による品質環境管理システムによって製造が行われていること。
- (2) 艤装は、堅ろうで耐久性に優れ、長期の使用に十分耐えられる構造とすること。
- (3) 艤装は、努めてアルミ板及びステンレス鋼を使用し、総合的な重量軽減を図るとともに、車体の重量のバランスを十分考慮すること。
- (4) 艤装は、全般にわたり防錆処理を施し、防水性及び耐水性を十分考慮すること。
- (5) 車体の骨組みは、完全に自立する構造とし、側板及び腰板等に対して負担がない構造とすること。
- (6) 枠組み等のシャシフレームへの取付け及び取付け品等の取付けは、原則として弛緩しないボルト締めとすること。
- (7) 各装置及び取付け品等の周囲には、点検整備及び修理に必要なスペースを確保するとともに、必要により点検口又は点検扉を設けること。
- (8) ステップ、足掛り、手摺、握り棒等を必要な場所に取付けること。
- (9) 車体に取付ける手摺及び保護棒等は、ステンレス製とすること。
- (10) ブラケット、ステップ、足掛り、手摺及び握り棒等を取付ける部分は、十分な補強を施すこと。
- (11) はしご、タラップ及びステップ等は、堅ろうかつ昇降が容易な構造とすること。また、踏込み部分及び資機材積載等による塗装剥離の恐れのある部分には、アルミ板又はステンレス板を張り付けること。
- (12) 車体の骨組み及び板材等の切断端末は、危害防止のため面取りを施し、突出したボルト

等は短くする等の工作を行うこと。

- (13) 各扉の蝶番、キャッチロック、ロック装置、ボルト及びナット類等は、ステンレス製とすること。
- (14) 燃料タンクの容量は、100L以上とし、燃料油口は、給油が容易な位置に設けること。
また、注入口キャップ付近に使用燃料及び容量を明記すること。なお、給油口の蓋は施錠できる構造とすること。
- (15) 各電装品関係の電気配線及び無線電話装置関係等の配線は、フレキシブルチューブ（保護管）等で保護すること。また、各配線が金属部を貫通する場合には、ゴムソケット等で保護し、水が侵入しないように十分な処置を施すこと。
- (16) 各電装品関係の電気配線及び無線電話装置関係等の配線は、キャブの内張り内を通すこと。また、内張りには点検口を設け、容易に点検ができる構造とすること。
- (17) 無線電話装置の雑音（無線障害）を防止するため、雑音発生源となる電装品関係にノイズフィルター・ボンディングアース等の処置を施すこと。
- (18) 車両の灯火装置及び各種照明は、可能な限り高照度、長寿命及び省電力のLED式とすること。

3 キャブ外部艤装

(1) フロントパネル

- ア フロントパネル及びフロントグリルを赤色に塗装を施し、フロントグリルの中央部に消防章（150mm・下地赤色）を取付けること。
- イ グリル部にLED赤色点滅灯（ウイレン製WIONBR（24））を2個取付けること。
（取付け位置については別途協議）
- ウ キャブ前面のフロントガラス上方及び下方に清掃等作業のためのグリップを設けること。
- エ フロントコーナーパネルを赤色に塗装をすること。

(2) フロントバンパー

- ア フロントバンパーは赤色に塗装し、上面に足掛用のアルミ縞板を設け、ステップとして使用できるように十分な補強を施すこと。
- イ フロントバンパー前部にバウシャックル（けん引用／ステンレス製／取付け可能な許容荷重最大荷重）を2個取付け、周辺に許容荷重を表示すること。
- ウ フロントバンパー前壁部下部に、LED式赤色点滅灯（ウイレン製WIONSMBR（24））を2個取り付け、側面（左右）に（ウイレン製VTXFBR（24））を各1個取付けること。

(3) 昇降用ステップ

- ア 後部両ドア下部に、重装備の隊員が容易に昇降できる2段式ワイドステップ（キャブ一体型スカートステップ／収納BOX付／グレーチングタイプ）を設けること。
- イ 昇降用ステップ周辺に、足元を照射するLEDフットランプ及びLEDステップランプを取り付け、スモールランプ点灯時かつドア展開時に自動点灯させること。

ウ キャブ左側収納ボックス

(ア) バッテリーの点検が容易にできるワンタッチ式の引出し装置を取付けること。

(イ) コード類は、バッテリーの出し入れに支障がないよう余裕のある長さにする事。

エ キャブ右側収納ボックス

収納ボックス内は、収納スペースとし、収納物のサイズに応じて棚等を設けること。

(5) ハイルーフ

キャブ天井は、全面ハイルーフとする。ハイルーフ部は重量軽減及び転倒角度向上と走行安定性・耐蝕性の観点から、軽量かつ強度なカーボン製（炭素繊維）とすること。また、天井中央部を落とし込み、アルミ縞板張りの動荷重 150 k g、静加重 300 k g 以上の耐荷重を持つルーフデッキを設けること。ルーフデッキ床面に資器材固定用のフック（D環）を 6 個均等に取付けること。（取付け位置については別途協議）

(6) 赤色警光灯

ハイルーフ前面上部に散光式赤色警光灯（LEDフラッシュ内蔵及びモーターサイレン及びスピーカーをキャブ一体型として設けること。

スピーカーは前方音量を確保しつつ、室内は音量を抑えることができるアクティブ制御スピーカーとすること。

ア 赤色警光灯は、前方、斜め前方及び側方に向けて照射する構造とすること。

イ 側方に向けて照射するLED赤色警光灯（ウイレン製M6V2CR（24））を左右側面標識灯後方に各1個取付けること。

(7) 標識灯

ハイルーフ部両側面に白色の標識灯を埋め込み、スモールランプ点灯時に自動点灯させること。

ア 標識灯の文字は、黒色の太丸文字で八幡市と標記すること。

(8) 乗降用アウター握り棒

各ドア周辺に、乗降用アウター握り棒を取付けること。

(9) 訓練旗立てパイプ

キャブ左側後部にステンレス製の訓練旗立てパイプを取付けること。

(10) サイドバイザー

全ドアにメーカー（樹脂製）サイドバイザーを取付けること。

(11) サイドミラー

サイドミラー（左右）を取付けること。

また、サイドミラー（左側）には、隊長用後方確認ミラーを取り付けること。

(12) ドアグリップ

各ドアグリップを取付けること。

4 キャブ室内機装

(1) センターコンソールボックス

運転席と助手席の間に、センターコンソールボックス（集中操作ボックス）を取付けること。センターコンソールボックス内には、電子サイレンアンプ（大阪サイレン製Mark-D1・TSK-D152）、10連スイッチ（大阪サイレン製SBW-D1）、機装関

係スイッチ等及び地図入れボックス及び携帯無線機ボックスを設けること。また、確認標示灯10連スイッチ及び別途指示する確認灯については、点滅中にサイドブレーキを下ろすと警報音が鳴るようにすること。（詳細については、別途協議し指示する。）及び、センターコンソールボックス内に600W以上の100Vコンセントを1口取付けること。

(2) 助手席

助手席は、シャシ標準装備のシートで足元スペースを十分確保すること。

(3) 後部座席

ア 後部座席は背もたれカットシートとし、後方に空気呼吸器4基（ベルリング製スマートドック）で固定すること。

イ 後部座席後部下部には、予備ボンベ木箱上面マット張りを設け、予備ボンベ3本を収納すること。

ウ キャブバックボックス改造をし、呼吸器収納部分を広くし、後部座席を広く使用できるようにすること。

(4) シートカバー

全席シート（運転席、助手席、後部座席）に超防汚シートカバーを取付けること。

（超防汚シートカバー色については、ブラック/レッドとする。）

(5) 天井収納棚

天井中央部（ルーフセンターコンソール）及び天井後部（ルーフリアコンソール）に大型の収納棚を設けること。底部はパンチングタイプとし、収納物が落下しないよう開口部にネットを設けること。また、パンチング用吊り下げフックを必要数付属すること。

(6) ネットシェルフ

天井にルーフネット（A3サイズ収納）を2ヵ所設けること。

(7) 車内空間（天井高）

後部座席の車内空間（天井高）は、180cm以上確保すること。

(8) マップランプ

助手席及び後部座席左右に、LED式フレキシブルマップライト（ウイレン製CL-A DJLMAP24）を取付けること。

(9) キャブ室内灯

キャブ室内を有効に照射できるLED式白色室内灯を前（小）後（大）2ヵ所に取り付けること。

(10) デジタル時計

オーバーヘッドコンソールの中央部に大型デジタル時計を取付けること。

(11) 収納枠

ア 携帯拡声器収納枠

携帯拡声器（2個）用の収納枠を取付け、ベルト（マジックテープ式）等で容易に着脱できる構造とすること。なお、取付け位置については、天井収納棚（ルーフセンターコンソール）底部とする。（取付け位置については別途協議）

イ LED合図灯収納枠

LED合図灯（2個）用の収納枠を取付け、ベルト（マジックテープ式）等で容易に

着脱できる構造とすること。なお、取付け位置については、天井収納棚（ルーフセンターコンソール）底部とする。（取付け位置については別途協議）

(12) 後部座席、中間パイプ

前席後部に中間パイプバス型及び運転席・助手席のパイプを可動改造及びS字フック標準タイプを各5個取付け、中間パイプ下パンチングメタルバス型中央を取付け、S字フックパンチングメタル用を5個取付けること。

(13) 乗降用インナー握り棒

各ドア周辺に、乗降用インナー握り棒を取付けること。

(14) GPSナビゲーションシステム

大規模災害時にも対応できるカーナビゲーションシステム（パナソニックCN-F1X10LD）を取付けること。（取付け位置については、別途協議し指示する。）

(15) バックアイモニター

ルームミラー型バックアイモニターを取付けること。（市光工業7.0ワイド画面・左右バックセンサー付）

(16) 電子サイレン

大阪サイレン製作所（Mark-D1・TSK-D152）右折：No.540、左折：No.550、後退：No.560、出動：No.524、交差点：No.511、渋滞：No.524（CH.1）年末：No.942、（CH.2）春：No.103、（CH.3）秋：113（CH.4）地震警戒：No.850、（CH.5）群衆整理【ヘリコプター】：No.1170、（CH.6）群衆整理【有毒物散布】：No.953、（CH.7）群衆整理【火災】：No.1671、（CH.8）群衆整理【救助活動】：No.1672、（CH.9）大雨：No.5612、（CH.10）群衆整理【火気厳禁】：No.413 とすること。

ア 音声合成（OFF/常時）消音スイッチを設け、音声合成（OFF/常時）スイッチをOFFにすると、右左折時及び後退時に広報しない構造とすること。

イ 交差点進入時音声スイッチ及び渋滞通過時音声スイッチ

交差点進入時音声スイッチ及び渋滞通過時音声スイッチを助手席側周辺のセンターコンソールボックス内に取付けること。

(17) 電動サイレン（モーターサイレン）

大阪サイレン製作所 6SAとし、押しボタン式スイッチを助手席側周辺のセンターコンソールボックス内に取付けること。

(18) ドライブレコーダー

デンソーテン DREC4000及びマイクロSDカード8G（デンソーテンSDC-M08T）とし、フロントガラス上部中央付近に設置すること。

(19) ETC車載器

パイオニア カロツツェリア ND-ETCS10 ETC2.0車載器

5 車体艤装

(1) 車体部屋根

ア 車体部屋根は、雨水が滞留及び車体内部へ侵入しない構造のアルミ編板張りとするこ
と。

イ 予備の消火薬剤を落とし込みの収納スペースを設けること。(取付け位置については別途協議)

ウ 車体屋根右側に可能な限り大容量の収納ボックスを取付けること。(別途協議)

(ア) 収納ボックスの扉には、取手及びダンパーを取付けること。

(イ) 収納ボックスの扉は、足場台として使用できるよう十分な補強を施すこと。

(ウ) 収納ボックス内部は、緩衝材を敷くこと。

エ 車体屋根左側に三連梯子とカギ付梯子の昇降装置(ガスダンパー式)を取付けること。

(ア) 昇降装置は、可能な限り低く取付けること。

(イ) 昇降装置は、地上から容易に操作できる構造とすること。

(ウ) 昇降装置の上面は、足場台として使用できるように十分な補強を施し、アルミ縞板張りとすること。

(エ) 昇降装置側面左側に、とび口2本取付け固定を設けること。

オ 車体部屋根作業灯

車体部屋根の適当な位置に足元を照射するLED式白色作業灯を必要個数取付けること。また、スモールランプ点灯時に自動点灯させること。

カ LED照明装置

車体部屋根前方中央付近にリモコン操作等により容易に伸縮及び回転が可能なLED照明装置(佐藤工業所 ナイトスキャンチーフ・90W×4)を取付けること。

(ア) 電源は車両バッテリーとし、メインスイッチは車体部右側面中央部のリモコン差込口付近に取付けること。また、全自動収納機能付きの有線・無線リモコンを設けること。

(イ) 収納状態が確認できるリミット装置を設けること。

(2) 車体部側壁部

ア 側板嵩上げ

屋根上の積載品及び装備品等を保護するため、側板をハイルーフキャブの上端の高さまで嵩上げすること。また、後方向に曲線傾斜をつけ形状とする。

(ア) 嵩上げ部両側面に、ウイレン社製 M6V2CR(24)各4個を取付けること。

また、シャッター各開口両側面上部に下方を照らすLED照明灯(ウイレン製CL-SSL18D24)を取付けること。

イ 車体部側面(資機材格納庫)

(ア) シャッター

車体部両側面は雨水等が侵入しないオールシャッター仕様とし、片面2枚の手動開閉式アルミ製バーハンドル式シャッター(カギ付ロック機能)を取付けること。また、各シャッター取手の裏側には、引き下ろし用のベルトを設け、各シャッターの開閉状態が確認できるリミット装置を設けること。

(イ) チェーンレス展開ステップ(同等品可)

側面シャッター下部にロック装置付のダンパー式チェーンレスフルフラットステップとし、全ての扉に側方灯(埋め込み式日本ボディーパーツ工業製JB406YY LED黄色)を取付けること。

- a 展開ステップの内側は、アルミ縞板張りとする。
 - b 展開ステップの縁には、黄色の反射テープを貼り付けるとともに、縁前後側面3面にLED式赤色点滅灯を埋め込み、チェーンレス展開ステップ展開時に自動点滅させること。
- (ウ) ダンパー式チェーンレスフルフラットは展開時には狭小現場を考慮した構造であること。
- (エ) ポンプ室
- 車体部両側面前部にポンプ室を設け、ポンプ室の隅に、デッドスペースを有効活用した、吸管、吸管枕木、吸管ロープ等を収納できるボックス及びLED照明装置操作部（ナイトスキャンチーフリモコン等）取付けること。
- また、左右ポンプ室下部に速消ボックスを設け、扉は、ステップ兼用扉とし内側にアルミ縞板を張りダンパーを取付けること。（チェーンレス方式）
- (オ) ホース収納棚
- 車体部両側面中央部に可動式3段のホース収納棚を設けること。また、ホース収納スペース底部は排水に考慮した構造とすること。
- a 収納棚には、65mm×20m二重巻ホースを収納することができるスペースを設けること。
 - b ホースバックを収納することができるスペースを設けること。
- (カ) 資機材収納ボックス
- 車体部左側面後部に資機材収納ボックスを設け、下部扉はステップ兼用扉とし、内側にアルミ縞板を張りダンパーを取付けること。（チェーンレス方式）
- 車体部右側面後部は、展開式収納棚（パンチングメタル板）を設け、資機材を収納できるパンチングメタル用フック等を取付けること。
- ウ 昇降用タラップ（固定式）
- 車体部両側面前方に、車体部屋根に昇降するために固定式の昇降用タラップを取付けること。また、滑り止め等の措置を講ずるとともに、つま先当たりの箇所には、ステンレス材等による保護枠等を施すこと。
- エ リアフェンダー
- (ア) 車体両側のリアフェンダーは、タイヤチェーン及びタイヤ交換の支障とならない構造とすること。また、リアフェンダー内側はアルミ縞板張りとする。
- (イ) リアフェンダーの縁には、黄色の反射テープを貼り付けるとともに、LED式赤色点滅灯を埋め込むこと。また、LED式赤色点滅灯は、スモールランプ点灯時かつリアフェンダー展開時に自動点滅させること。
- (ウ) リアフェンダーには、ロック装置を取付けること。
- (エ) リアフェンダーには、ダンパーを取付けること。
- (オ) チェーンレスフルフラットステップを設けること。
- (カ) リアフェンダーの展開時は、他のステップとステップ高が均一になるようにフルフラット式とする。
- オ 後輪灯

後輪（両側）の前部付近に後輪の周囲を有効に照射できる保護枠付LED式後輪灯を取付けること。また、後輪灯は、スモールランプ点灯時に自動点灯させること。

カ キャブ両側下部収納ボックス

キャブ両側下部収納ボックスに、ロック装置と側方灯（埋め込み式・日本ボデーパーツ工業製JB406YY LED黄色）をスモールライト連動で設けること。

(3) 車体部後壁部

ア 車体部後壁部上部左右に、保護枠付で（ウイレン製 M9V2CR（24））を各1個取付けること。また、操作しやすい位置に個別のスイッチを設けること。

（車内センターコンソールに作業灯用入り切りスイッチを設ける。）

イ 昇降用タラップ（展開式）

車体部後壁部右側に、車体部屋根に昇降するために展開式の昇降用タラップ（カギ付ロック機能）を取付けること。また、滑り止め等の措置を講ずるとともに、つま先当たりの箇所には、アルミの小筋板を張りつけること。（張りつけ位置については別途協議）

ウ スイッチパネル

車体部後壁部右側にスイッチパネルを取付けること。スイッチについては、ホースカー昇降装置（上昇・下降）スイッチ、作業灯（後部）スイッチ、作業灯（照明灯）スイッチを取付けること。（詳細については、別途協議し指示する。）

エ 車体部後壁部にLED式ブレーキランプ、ウインカーランプ及び後退灯を体裁良く取付けること。（別途協議）

オ シャッター

車体部後壁部に手動開閉式アルミ製バーハンドル式シャッター（カギ付ロック機能）を取付けること。また、シャッター取手の裏側には、引き下ろし用のベルトを設け、シャッターの開閉状態が確認できるリミット装置を設けること。

(4) 車体部後面（資機材格納庫）

車体部後面に、スタンドパイプ、消火栓キー、バールを立てた状態で収納することができる収納庫を設けること。（詳細については、別途協議し指示する。）

(5) ボックス内照明灯

各シャッター内の資機材収納庫、各操作部、その他夜間活動時必要な箇所を有効に照射できるLED式白色照明灯を必要個数取付け、10連スイッチに連動されること。（詳細については、別途協議し指示する。）

6 消防ポンプ装置

(1) 主ポンプ

ア ポンプ性能は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令の規定によるA-2級以上の性能を有すること。

イ PTOはシャシ純正品とし、操作は運転席及び左右ポンプ操作盤に設けられたワンタッチスイッチにより行うものとし、PTO作動時は表示ランプを点灯させること。（詳細については、別途協議し指示する。）

- ウ 構造は、ポンプ収納部コンパクト化のため、高圧1段ポリユートポンプとし、ポンプは振動により移動や緩みのないよう、シャシに確実に固定すること。(同等品可)
- エ ポンプケースの材質は、軽量化の観点からアルミ製とすること。ただし、インペラは耐腐食性及び強度を考慮し青銅鋳物とすること。(同等品可)
- オ 軸受部はグリス、オイル、不凍液等を必要としない完全メンテナンスフリーのメカニカルシールとすること。
- カ ポンプ排水のドレンコックは、ポンプスイッチと連動するもの。また、手動式ドレンバルブを設けること。
- (2) 真空ポンプ (同等品可)
- ア 真空ポンプは、圧縮空気泡吐出装置のコンプレッサーと兼用型オイル循環式真空ポンプ(エゼクター式)又は無給油式真空ポンプ(電磁クラッチ式)とすること。揚水完了時に自動的に真空が停止する構造で作動確実、振動や騒音の少ないものであること。
- また、コンプレッサー故障時は予備ポンペを用いて真空形成ができる構造とする。
- イ 真空度が大気圧の84%に到達するのに要する時間は30秒以内とすること。
- (3) 吸水口 (同等品可)
- ア 吸水口は、75mmボールコック(ストレーナー付)とし、ポンプ室両側に各1個設けること。また、吸管は75mm×10mとし、スーパースイングエルボーを介して常時接続する構造とすること。
- イ 両吸水口内側にバイパス式エゼクター(揚水確認装置付)を取付けること。
- (4) 吐水口 (同等品可)
- 吐水口は、ポンプ室両側にボールコック付65mmを片側につき2口設けること。また、ポンプ室片側につき1口にスイベル媒介、1口にMCスイベル媒介を取付けること。
- (5) 中継口
- 中継口は、ポンプ室両側にボールコック付65mmを片側につき1口設けること。
- (6) タンク水給水口
- タンク水給水口は、両側リアフェンダー内又はポンプ室に65mmのものを片側につき1口設けること。また、積水口には、65mm差込式メス金具(アルミ製)とチェーン付オスキャップ(アルミ製)を取付けること。
- (7) 自衛噴霧装置
- ア 噴霧口は車体両側嵩上げ部の効果的な位置に、それぞれ3口以上設けること。
- イ 操作は左右別々の2系統とし、それぞれ別に操作できるものとすること。
- (8) ライン表示
- 圧縮空気泡吐出装置(CAFS)用吐水口の周囲及び操作コックレバー周囲に黄色のライン表示を施すこと。また、その他の吸水口、吐水口、中継口の周囲及び操作コックレバー周囲に青色のライン表示を施すこと。(詳細については、別途協議し指示する。)
- (9) ポンプ操作装置(安全機能装置付)
- ア 圧力計、連成計、スロットル、真空ポンプ作動及び停止スイッチ、多目的液晶ディスプレイが一体となったポンプ操作装置を左右に設けること。ディスプレイは視認性向上の為に7.0インチ以上とすること。ディスプレイには下記を表示させること。

- (ア) ポンプ圧力計
- (イ) ポンプ連成計
- (ウ) ポンプ回転計
- (エ) 流量計
- (オ) 圧縮空気泡消火装置用泡流量計及び水流量計
- (カ) 積算流量計
- (キ) 電子式タンク水位計
- (ク) 吸水口表示灯
- (ケ) 中継口表示灯
- (コ) 吐水口表示灯
- (サ) 取扱説明書 (PDF 文書)

イ 真空ポンプ操作は、左右連動式とし、ボタン操作で揚水まで行えること。

ウ ポンプスロットルは、電子式スロットルとし、スロットルの作動状態については、左右ポンプ操作装置に設けた多目的液晶ディスプレイに表示すること。また、ポンプスロットルは誤作動を防止するため左右とも右回転でスロットルが上昇すること。

エ 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作は、別回路の手動操作装置にて操作が行えること。

オ 多目的液晶ディスプレイ内の各表示切替えは、パネルスイッチ式とすること。

カ 機関員の誤操作防止のため、PTO及びポンプ操作盤メインスイッチを作動しない限り、ポンプスロットルが操作できない構造とすること。

キ 日常のポンプ点検用に真空計を右側ポンプ室に1個設けること。

ク 安全装置等

(ア) ポンプスロットルは、誤作動等によるポンプ圧力の急激な変化を防止するため、スロットルを任意の位置で固定できる構造とすること。ただし、スロットル固定機能使用中においてエンジン回転下降側（左回転）には、操作が行えること。

(イ) 自動調圧設定機能を設け、多目的液晶ディスプレイ内にて、ワンタッチにて圧力設定操作が行えることとし、スロットル操作又はワンタッチ操作で自動調圧が解除できること。

(ウ) 真空ポンプは、破損防止のため、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とすること。また、エンジン回転数が高い状態で、真空ポンプを作動した場合は、自動的にエンジン回転をアイドルに低下させた後に、真空ポンプ作動の適正回転まで上昇する構造とすること。

(エ) 吐水口のボールコックは、操作コックレバーを回転することにより開閉状態が保持できる構造とすること。

7 水槽

- (1) 水槽は、容量2,000Lとし、艀装材料の厚さは、法令等に適合するものであること。
- (2) 水槽の材質は、樹脂製又は板厚3mm以上のステンレス製（日本工業規格SUS304又は同等以上）とし、0.03MPaの内圧に対して変形及び水漏れのない構造とするこ

と。

- (3) 水槽は、振動及び衝撃等により損傷、緩み等を生じないように車体に固定すること。
- (4) 水槽の内面は、防錆及び防蝕加工を施し、内部には、防波板を有効に設け、清掃や塗替え等に便利な構造とすること。
- (5) 水槽上部にマンホールを設け、メンテナンスが容易に行えること。
- (6) 水槽には、オーバーフローパイプ及びドレンバルブを設けること。
- (7) 水量計は、水管浮子式及び電子式の2系統とし、それぞれポンプ室左右に設けること。
水管浮子式は、側部に目盛を表示し、水抜きバルブ及び照明灯を取付けること。電子式は、多目的液晶ディスプレイと連動すること。また液晶ディスプレイ内で放水可能時間の目安がわかること。
- (8) 水槽は、ポンプによる自己補給が可能であり、ポンプへの補給口及び排水口を設け、各配管には緩衝装置が施されていること。
- (9) 水槽保護の観点から、タンク吸水コックが開いている状態で中継コック、吸水コックを開いた場合は、自動的にタンク吸水コックが閉じる構造とすること。
- (10) タンク吸水口については、電動コックを使用し、多目的液晶ディスプレイにて操作できる構造とすること。

8 圧縮空気泡吐出装置（CAFS）

- (1) 装置は、水ポンプ装置から送られてきた水を利用して、混合器で作られた混合液にコンプレッサーを用いて圧縮空気を送り込み、配管内部で液状にして発砲できる装置で、少量の水で効率の良い泡消火ができるものとする。また、消火・火炎鎮圧用湿式泡（ウェット泡）と延焼防止・残火処理用乾式泡（ドライ泡）の2種類の泡について、泡管鎗を用いることなく吐出可能なものとする。
- (2) 性能
最大水量600ℓ/min以上、最大空気吐出量3,200ℓ/min以上及び最大泡吐出量3,800ℓ/min以上とし、2線同時に放射しても十分な吐出量が得られる構造とすること。なお、泡の吐出量を確認するための泡流量計を設けること。
- (3) 操作方法
装置の操作は、左右ポンプ室の多目的液晶ディスプレイ内で可能なこととし、タッチパネル式にて操作できることとする。また、湿式泡と乾式泡の切替操作は、ワンタッチで行えるものとし、放水中であっても切替え及び変更操作が可能な構造とすること。
- (4) 安全機能
ア 泡消火原液の供給において、何らかの異常が発生した場合は隊員の安全確保のため、水のみを放射に自動的に切り替わるようにすること。
イ 圧縮空気泡消火装置の運転時に適正な回転数にスロットルを上げた場合、スロットルを上げようとしても規定回転以上には回転が上がらないように過回転防止装置を設けること。
- (5) コンプレッサー
ア オイル循環式のロータリースクリュー型コンプレッサーとし、コンプレッサーの潤滑

油は、補助冷却器により冷却する構造とすること。なお、補助冷却器は、圧力水の一部の水により冷却される構造とすること。

イ コンプレッサーの油温上昇を警告するブザー等を設けること。

ウ コンプレッサーはメンテナンス性の観点から国産性とする。

(6) 混合装置

ア 圧縮空気流量を感知して、コンピュータ演算により自動的に泡原液量を調整して混合装置比を設定する電子式比例混合式とする。原液濃度は多目的液晶ディスプレイ内でワンタッチにて変更可能なこと。なお、放水中でも原液濃度の変更可能な構造とすること。

イ 原液濃度の設定は0.3～1.0%の8段階の設定可能な構造とし、左右ポンプ室の多目的液晶ディスプレイ内で設定できること。

(8) 混合液放射

圧縮空気泡吐出装置の混合装置を利用し、クラスA混合液のみでも放射可能な構造とし、本操作についても、左右ポンプ室の多目的液晶ディスプレイ内にて操作できること。

(8) 原液槽

ア 原液槽は、20L入りポリ容器が据え付けられる構造とし、据え付けたポリ容器から原液を吸液できる構造とすること。また、夜間活動時において、ポリ容器内の原液残量が視認しやすいよう照明灯を取付けること。

イ 消火中に原液がなくなった場合でも、外部から吸液できる構造とすること。

(9) 配管

圧縮空気泡吐出装置を使用後に、配管等に残存する泡原液及び泡混液を洗浄できる構造とすること。

(10) 収納

圧縮空気泡吐出装置は、全てポンプ室内に収納し、各ボックス内の収納スペースをつぶすことなく、資機材を積載できること。

9 ホース延長用資機材

(1) ホース延長用資機材は、カノー式ホースカー（以下、「ホースカー」という。）とすること。

(2) ホースカーの構造及び規格は、次のとおりとすること。

ア 構造

ホースカーの収納部を装備し、軽量化を図った構造とすること。

イ 収納部

65mmホースが6本以上収納できる構造とすること。また、底部には、強化樹脂製スノコ板を敷きホースカー内はカバーで覆うこと。

ウ 反射テープ

ホースカー前後両側面には、黄色の反射テープを貼り付け、夜間危害防止措置をすること。

エ スタンド

ホースカースタンドは可能な限り延長すること。(別途協議)

(3) ホースカーに取付け装置を必要とする資機材は次のとおりとすること。

- | | |
|--------------|-----------|
| ア 分岐管 | 1個 (別途協議) |
| イ 媒介金具 | 4個 (別途協議) |
| ウ クアドラフォグノズル | 2本 (別途協議) |

(4) ホースカー積載台は、ホースカーを確実に固定でき、ホースカーの重量に耐えられる強固な構造とすること。

(5) ホースカー固定装置は、ホースカーを強固に固定し、車両の走行振動及び急停車等の衝撃で解除又は脱落しない構造とすること。

第4 取付品及び附属品

1 取付品

取付品及び取付装置は、別表1・2のとおりとする。

2 附属品

附属品は別表3・4のとおりとする。

3 補助加算対象取付品及び附属品

補助加算対象取付品及び附属品は別表5のとおりとする。

4 補助対象外取付品及び附属品

補助対象外取付品及び附属品は別表6のとおりとする。

5 積載品の収納方法

(1) 積載品の収納方法は当本部担当員と十分に協議した後に決定すること。

(2) 重量物は可能な限り下部に収納すること。

(3) 飛出し防止装置付の空気呼吸器予備ボンベ2本と消火器(20型)2本分の収納枠を設けること。

(4) ロープ、カラビナ、滑車等は、容易に出し入れができる様にフックに吊下げて収納すること。また、どの位置にも吊下げられる構造とすること。

(5) 本仕様書に明示されていない積載品の収納方法は、別途協議し指示する。

第5 無線電話装置

1 本体

消防専用無線電話装置本体は、デジタル無線機本体及びAVM装置を当本部が用意し取付けるため、取付け可能な状態まで整備すること。(取付位置等については、別途協議し指示する。)

2 車内スピーカー

キャブ内に車内スピーカーを取付けること。

3 空中線

空中線（アンテナ）は、キャブ屋根に取付けることとし、配線は、保護管付同軸ケーブル（5D2V）で内張り内を通し、無線電話装置本体まで配線すること。

4 車外無線送話機取出口

- (1) ポンプ室両側に車外無線送話機取出口（車外無線通話ボックス）を取付けること。
- (2) センターコンソールボックスに車外無線送話機の「ON/OFF」スイッチを設けること。

第6 塗装

1 下地処理

- (1) 完全な錆落とし、洗浄及び防錆処理を行うこと。
- (2) 下地塗装は、上塗り塗装に適合したものを十分考慮したうえで塗装すること。
- (3) 鋼板の結合部は、組立前に錆止塗装をすること。
- (4) 組立後、資機材庫骨組部及び鉄板内側に再度防錆処理を行うこと。
- (5) サンダー跡、ゆがみ等を完全に処理し、塗装後に目立つことがないようにすること。
- (6) 配管内の塗装不良防止の為、電着槽を用いたカチオン塗装をポンプ配管に施すこと。

2 上塗り塗装

- (1) 下地塗装が十分に乾燥した後に行うこと。
- (2) 仕上げ塗装は、3回以上とすること。
- (3) 仕上げ塗装後、細目ペーパー等により塗装面を滑らかにし、艶出しすること。
- (4) 塗料のたれ、むら及び飛び散り等がないように仕上げること。

3 塗装箇所及び塗装色

- (1) 車両全般は、赤色（ロックペイント製ハイロックデラックスの赤色ハイソリッドウレタン塗料 日塗工 H07-40X に近似色）に塗装すること。（アルミ縞板部は除く。）
- (2) 車両の下回り及びタイヤハウス内は、黒色に塗装すること。
- (3) キャブ内は、シャシメーカー標準色とする。ただし、キャブ内に艤装した大型センターコンソールボックス及び各収納ボックス等はライトグレーに塗装すること。
- (4) 資機材収納庫内及び各収納ボックス等の内部は、シルバーに塗装すること。
- (5) ハイルーフのスピーカー収納部カバーは赤色に塗装すること。
- (6) シャッター及びシャッター枠は赤色に塗装すること。
- (7) その他の部分の塗装については、別途協議し指示する。

第7 車両標示文字

次の各箇所に車両標示文字（ライン等を含む。）を記入すること。また、車両標示文字のペイントまたはシール材の貼り付けを行う場合は、「記入文字等デザイン図」により了承を得る

こと。なお、シール材は、容易に剥がれないように必要な措置を講じること。

1 キャブ前面

- | | |
|----------|-------------------------|
| (1) 記入文字 | KYOTO YAWATA FIRE |
| (2) 位置 | フロントガラス上部 |
| (3) 記入方法 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (4) 字体 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (5) 文字色 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (6) サイズ | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |

2 キャブ側面

- | | |
|----------|-------------------------|
| (1) 記入文字 | 八幡市消防本部（別途協議） |
| (2) 位置 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (3) 記入方法 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (4) 字体 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (5) 文字色 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (6) サイズ | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |

3 車体部側面

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 記入文字 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (2) 位置 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (3) 記入方法 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (4) 字体 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (5) 文字色 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (6) サイズ | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |

4 車体部後壁

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 記入文字 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (2) 位置 | 別途協議 |
| (3) 記入方法 | 別途協議 |
| (4) 字体 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (5) 文字色 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |
| (7) サイズ | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様（別途協議） |

5 対空標示

- | | |
|----------|--------|
| (1) 記入文字 | 別途協議 |
| (2) 位置 | ルーフデッキ |
| (3) 記入方法 | 別途協議 |
| (4) 字体 | 太丸文字 |
| (5) 文字色 | 黒色 |
| (6) サイズ | 別途協議 |

6 標識灯

- | | |
|----------|-------------------------|
| (1) 記入文字 | 別途協議 |
| (2) 記入方法 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (3) 字体 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (4) 文字色 | 黒色 |
| (5) サイズ | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |

7 車両側面ライン

- | | |
|----------|-------------------------|
| (1) 位置 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (2) 記入方法 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (3) 色 | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |
| (4) デザイン | 八幡市災害対応特殊水槽付き消防ポンプ自動車同様 |

第8 仕様

1 型式

日野自動車 GX2AGBF-DBGAAVまたは同等品とすること。

2 諸元及び性能

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| (1) 仕様 | 11.99t仕様 |
| (2) シャシ形状 | ダブルキャブオーバー型消防専用5.5t級シャシ |
| (3) 車両総重量 | 12t未満 |
| (4) エンジン型式 | A05C-TE (A5-V) 水冷4サイクル直列5気筒ディーゼル過給機付 |
| (5) 総排気量 | 5,100L以上 |
| (6) エンジン最大出力 | 162KW (220PS) 以上 |
| (7) キャブ形状 | 標準幅ダブルキャブ |
| (8) 駆動方式 | 四輪駆動 (4×4) |
| (9) トランスミッション | 6MT |
| (10) PTO | 油圧多板クラッチ式フライホイールPTO |
| (11) 環境性能 | ポスト新長期排出ガス規制適合車 |
| (12) ステアリング | インテグラル式パワーステアリング |

- (13) ホイルベース
3.75m~3.95m (以下)
- (14) 乗車定員
6名 (前部座席2名、後部座席4名)
- (15) オルタネーター
24V-90A以上
- (16) フロントサスペンション
強化バネ+スタビライザー
- (17) リアサスペンション
強化バネ
- (18) タイヤ
国産メーカー スタッドレスタイヤ (アルミホイール付)
- (19) ガバナ
電子制御式
- (20) オイルパンヒータ
AC100V-500W (2極コンセント/キャップ付)

3 装備品

- (1) 安全機構
 - ア 坂道発進補助装置ESスタート
 - イ ABS (アンチロック・ブレーキ・システム)
- (2) 視界
 - ア 熱線入電動格納式ミラー
 - イ LEDヘッドランプ
 - ウ LEDフォグランプ
 - エ デイライト (青色LED/スモールライト点灯時に消灯する構造とすること。)
- (3) 室内装備
 - ア エアコン
 - イ フロアマット (ゴム製)
 - ウ AM/FMラジオ
 - エ 集中ドアロック
 - オ パワーウインドウ (全席)
 - カ サンバイザー (全席)
 - キ エンジン回転計
 - ク エンジン油温計
- (4) 機構及びその他
 - ア 電動油圧式キャブティルト (故障時に手動操作可能なもの)
 - イ その他メーカー標準装備品

4 附属品

- (1) 自動車工具（10tジャッキを含む）
数量 1式
- (2) 非常用信号用具（発煙筒）
数量 1本
- (3) タイヤチェーン（SCCケーブルチェーン）
数量 1式
- (4) スペアタイヤ（ブリヂストン オールシーズンタイヤ）
数量 1本
- (5) スペアキー
数量 2本以上

5 その他

本仕様書に明記されていない事項は、メーカー公表の標準仕様とすること。

第9 検査

1 中間検査

- 1 受注者は、工程ごとに自主点検を行い、その結果を都度報告すること。

検査は、艤装中間検査及び完成検査とする。

(1) 艤装中間検査

当本部が適当と認めるとき（約80%完成時）に受注者の製作工場において営業及び技術設計担当者の立会いのもと艤装及び寸法検査等を実施する。

- ア 艤装工程に基づく進行状況検査
- イ 仕様書、承認図及び協議決定事項検査
- ウ 組立板金工作の仕上がり状況検査
- エ 主要装備品、積載品の装着、艤装状況及び確認検査
- オ その他当消防本部が必要とする事項の検査
- カ 転覆角度実測検査
- キ 重量実測検査

(2) 完成検査

納車までの十分な期間を見込んで実施時期を設定するものとし、無線関係を除いた全ての部分は完成した後に車両納入場所にて実施すること。

- ア 車体構造及び性能検査
- イ 中間検査時の指示事項に基づく検査
- ウ 装備品、積載品の装着、艤装状況及び作動状況についての確認検査
- エ 当本部の指定色塗装及び指定文字等の配列についての確認検査
- オ その他当本部が必要とする検査

- 2 「計量証明書」「完成車転覆角度検査（車輛安定傾斜角度測定表）」を車両納入時に提出すること。
 - 3 検査は、当本部の指示によって行うものとし、検査に必要な測定機器等は、受注者側で準備すること。
 - 4 各検査において不都合が生じた場合は、双方で協議し、交換等必要な措置を講じること。
 - 5 検査の際に要する費用については、受注者側が負担すること。
- 2 諸費用
 - 1 検査、新規登録に関する手続き及び検査・登録の回送等に関する諸経費及びリサイクル料は受注者が負担する。
 - 2 自動車損害賠償責任保険料（25ヶ月）、自動車重量税は、当本部が負担するものとする。
 - 3 希望登録番号は別途協議し決定すること。
 - 4 車両以外に積載品等、届出や申請が必要なものについては、受注者側にて全て負担すること。
 - 3 設計、製作上の注意
 - 1 受注者は、契約にあたりこの仕様書を承認し、不審な点は当本部係員に質問し十分に熟知した上で契約するものとし、契約後においても一切の疑義は、全て当本部の解釈に従うこと。
 - 2 受注者は、諸般の理由により本仕様書並びに承認図において変更を必要と認めたとき、あるいは不審な点が生じたときは、当本部と協議を行い、変更承認図を提出して承認を得ること。
 - 3 受注者は、仕様書に記載のないものについても当然必要なものは良心的に製作すること。
 - 4 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
 - 5 本仕様書の詳細について、契約後、当本部との打ち合わせにより決定し設計すること。製作途上も細部まで、連絡を密にすること。
 - 4 車両納入前提出書類
完成車納入までに、次の書類を各1部提出すること。
 - (1) 自動車検査証の写し。
 - (2) 自動車保管場所登録証書の写し。
 - (3) その他当本部が必要とするもの。
 - 5 納入前点検整備
 - 1 納入時には、艤装、積載品、装備品及び車両車体の各部について十分な点検整備を行な

っておくこと。

- 2 納入時には、使用燃料等（軽油、オイル、エア一等）は積載品、艀装品を含めて全て満量とすること。

6 納入

- 1 納 期 令和6年3月29日（金）
- 2 納入場所 京都府八幡市八幡植松19-1 八幡市消防本部
- 3 納入台数 1台

7 取扱講習（技術指導）

受注者は納入時には、シャシ及び主要装備品の納車講習を行い、また、納入後に当本部の指定する日程で安全操作技能講習を必要に応じて複数回（2日間）行うこと。尚、実技訓練及び維持管理についての講習会の費用は発注者の負担とする。

8 保障等

- 1 納入に至るまでの間に発生したどのような事故も、受注者においてその責任を負担しなければならない。
- 2 本完成車両の保証期間は、納入後1年間とする。
- 3 納入後1年以内に故障（事故及び過失による損傷は除く。）が生じたときは、速やかに受注者の責任において無償で修理、取替え、その他必要な措置を講じること。ただし、製作上の欠陥による故障は、期間に拘らず当本部の使用期間中保証するものとし、不都合発生の理由書を提出すること。
- 4 車両整備上必要な部品は、納入後15年以上確保し、当本部から要求があれば迅速に供給できること。

別表

1 取付品及び取付装置

No.	品名	数量	規格等
1	ポンプ圧力計	2個	ポンプ室左右各1個
2	ポンプ連成計	2個	ポンプ室左右各1個
3	エンジン回転計	1個	運転席(シャシ固有)
4	エンジン油温計	1個	運転席(シャシ固有)
5	赤色警光灯	1式	散光式赤色警光灯(LEDフラッシュ内蔵)
6	電子サイレンアンプ	1式	大阪サイレン製作所Mark-D1・TSK-D152 [消防広報メッセージ] (右折) No.540、(左折) No.550、 (後退) No.560、(出動) No.500、(交差点) No.511、(渋滞) No. 524、(CH1) 年末 No. 942、(CH2) 春 No. 103、(CH3) 秋 No. 113、(CH. 4) 地震警戒 No. 850、(CH5) 群衆整理【ヘリ コプター】No. 1170、(CH6) 群衆整理【有毒物散布】No. 953、 (CH. 7) 群衆整理【火災】No. 1671、(CH8) 群衆整理【救助 活動】No. 1672、(CH9) 大雨 No. 5612、(CH. 10) 群衆整理【火 気厳禁】No. 413
7	照明灯	1式	佐藤工業所 LED照明装置 ナイトスキャンチーフ LED90W4灯式(リモコン式)
8	後退警報器	1式	シャシ標準(音声合成機能)
9	標識灯	1式	白色(キャブ埋込み一体型)

2 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No.	品名	数量	規格等
1	カーナビゲーションシステム	1式	パナソニックCN-F1X10LD
2	電動サイレン	1式	大阪サイレン製作所 6SA型
3	真空計	1個	ポンプ室右側面
4	ポンプ回転計	2個	デジタル式又は液晶タッチパネルモニター (真空・揚水表示ディスプレイに表示)
5	流量計	4個	デジタル式又は液晶タッチパネルモニター (真空・揚水表示ディスプレイに表示)
6	積算流量計	2個	デジタル式又は液晶タッチパネルモニター (真空・揚水表示ディスプレイに表示)
7	キャブチルト装置	1式	電動油圧式

8	オイルパンヒーター	1式	
9	タイヤ、	1式	国産 スタッドレスタイヤ (アルミホイール付き)
10	自衛噴霧装置	1式	噴霧口を車両両側面に各3口以上設置
11	作業灯	2個	ハイルーフ側板部：コンビネーション点滅灯・作業灯 ※左右各1個：ウイレン製M6V2CR (24)
		4個	側板嵩上部：コンビネーション点滅灯・作業灯 ※左右各4個：ウイレン製 M6V2CR (24)
		2個	車体後部：コンビネーション点滅灯・作業灯 ※左右各1個：ウイレン製 M9V2CR (24)
		7個	シャッター各開口部 ※左右3カ所・後部1か所 (ウイレン製CL-SSL18D24)
12	車外無線送話機取出口	2式	両側ポンプ室付近に各1個取付け
13	ドライブレコーダー	1式	デンソーテン (DREC4000) マイクロSDカード8G デンソーテン (SDC-M08T)
14	ETC車載器	1式	パイオニア カロツエリア ND-ETCS10

3 備えなければならない附属品

No.	品名	数量	規格等
1	吸管	2本	オーサカゴムNewLF-18 75mm×10m
2	吸口ストレーナー	2個	
3	吸管ストレーナー、吸管ちり よけ籠一体型及び吸管ロープ (フック付)	2個	岩崎製作所 16SKGF3P
4	吸管まくら木	2個	オーサカゴム WSパット (ゴム製)
5	消火栓金具	1個	呼称75ネジメス×呼称65差込メス
6	中継用媒介金具	2個	呼称65ネジメス×呼称65差込メス
7	消火栓開閉金具	1丁	日之出水道機器 消火栓ハンドルNo.106
8	吸管スパナ	2丁	
9	ノズル	各 3本	YONE クアドラフォグノズル NH-50QFS・NH-40QFS
10	ポンプ工具	1式	冷却水スパナ、キャップ用スパナ
11	放口媒介金具	2個	スィーベル吐水口媒介 (65mm)
12	とび口	2本	1.8m (グラスファイバー製)
13	金てこ	1丁	ハリガンツール レガシータイプハリガン

14	剣先スコップ	1丁	
15	角スコップ	1丁	
16	三連はしご	1脚	関東梯子 KHFL-CT87
17	車輪止め	4個	ゴム製
18	消火器	2本	20型
19	放口媒介金具	2個	MCスィーベル吐水口媒介 (マルチ)

4 軽微な変更として備えることができる附属品

No.	品名	数量	規格等
1	タイヤチェーン	1式	SCC製ケーブルチェーン
2	分岐管	4個	YONE MC分岐ボールバルブWB-50MC
3	ホースブリッジ	2式	オーサカゴム スーパーL型
4	発電機	1台	ホンダ EU16i
5	コードリール	1個	ハタヤ SS-30K
6	投光器	1個	LED投光器 Nmad360
7	ホース運搬具 (収納袋) 【ホースバック】	4個	(参考銘柄) 赤尾 ホースバックKF型 (材質) ターポリン (色) 黄色 (奥行) 200mm (幅) 600mm (高さ) 350mm ショルダーベルトは、ピンバックルを使用し、長さが調整課のとすること。
8	スタンドパイプ	1本	YONE 双口バルブ付スタンドパイプ PS-65DV
9	特殊ノズル	2本	フリップチップ・プラスノズル NV-50FTS
10	特殊ノズル用ホース	各 12本	50mm×20m 使用圧1.6Mpa 40mm×20m 使用圧1.6Mpa ※詳細別途指示

5 補助加算対象取付品及び附属品

No.	品名	数量	規格等
1	ホースカー動力昇降装置	1式	電動油圧昇降装置
2	空気呼吸器	4基	ドレーゲル PSS7000 (FPS7000) レスキューフード付 (面体含む)
3	空気呼吸器用ポンベ	4本	ドレーゲル ウルトレッサー ALT639J (90°バルブ) ※詳細別途指示
4	携帯警報器	4個	スーパーパスII

5	空気呼吸器取付装置	1式	後部座席：跳ね上げ式 スマートドック（4基）
6	圧縮空気泡吐出装置	1式	C A F S 装置
7	四輪駆動方式		四輪駆動（4×4）
8	ホース	20本	65mm×20m 使用圧1.6Mpa

6 補助対象外取付品及び附属品

No.	品名	数量	規格等
1	消防章	1式	樹脂製メッキ加工150mm/下地赤色
2	フロントバンパー	1式	アルミ縞板（足掛け用） バウシャックル2個取付け（許容荷重表示）
3	オールシャッター	1式	オールシャッター仕様（片面3枚・後面1枚）計7枚 手動開閉式アルミ製バーハンドル式シャッター （カギ付きロック機能）
4	ハイルーフ	1式	赤色警告灯（散光式赤色警告灯）、サイレンスピーカー、 標識灯一体型・ルーフデッキ加工
5	側板嵩上げ	1式	車体部両側面嵩上げ
6	昇降用タラップ（固定式）	1式	車体部両側面前方
7	昇降用タラップ（展開式）	1式	車体部後壁部右側
8	キャブ両側下部収納ボックス	1式	キャブ両側下部（ロック機能付）
9	訓練旗立てパイプ	1本	キャブ左側後部（ステンレス製）
10	ボックス内照明灯	1式	資機材収納庫、各操作部及び夜間活動時の照明（LED式白色）
11	10連スイッチ	1個	大阪サイレン製作所 SBW-D1
12	センターコンソールボックス	1式	集中操作ボックス
13	スイッチパネル	1式	車体部後壁部右側
14	バックアイモニター	1式	市光工業7.0型ワイド画面・左右バックセンサー付
15	地図入れボックス	1式	パンチングタイプ
16	天井収納棚	1式	ルーフセンターコンソール・ルーフリアコンソール
17	ネットシェルフ	2個	A3サイズ（2か所）
18	マップランプ	3個	フレキシブルマップランプ（LED式白色）
19	室内灯	1式	LED式白色
20	大型デジタル時計	1式	オーバーヘッドコンソール取付け
21	シートカバー	1式	超防汚シートカバー（ブラック×レッド）
22	100Vコンセント	2個	センターコンソールボックス内
23	空中線	1式	キャブ天井

24	後輪灯	2個	LED式(保護枠付)
25	側方灯	2個	LED式角型黄色
26	車両標示文字	1式	八幡市(黒色・太丸文字)
27	赤色点滅灯	2個	フロントグリル部:ウイレン製WIONBR(24)
		4個	バンパー部: 全壁部・ウイレン製WIONSMBR(24) 側壁部(各1)ウイレン製VTXFBR(24)
		2個	ハイルーフ側板部:ウイレン製 M6V2CR(24) ※左右各1個
		8個	側板嵩上部:ウイレン製 M6V2CR(24) 左右各4個
		2個	車体後部:ウイレン製M9V2CR(24)左右各1個
28	携帯拡声器	2個	TS-513R
29	携帯灯光器	3個	ファイアバルカンVL180FUO
30	携帯灯光器	3個	ファイアバルカン(拡散レンズセット)FVL180U
31	救助用縛帯	1個	ハーネス ピタゴール
32	かぎ付はしご	1脚	関東梯子 KHFL-TOT31
33	バスケットタンカ	1式	タイタンTISプリット(チタン製)分離型 ファストリンクピックオフストラップ (商品コード)201107
34	小型救助器具	1式	Ogura RP-C160 Cカッター RP-S505 スプレッター RP-M18V パワーユニット 予備リチウムイオンバッテリー(BL1860B)4個
35	エンジンカッター	1式	ハスクバーナK770Resucue(替刃付)
36	チェーンソー	1式	ゼノアRC6200P
37	防護ズボン	1式	ハスクバーナ・チャップスIIフィクショナル(Lサイズ)
38	工具	1個	マキタ 充電式電動ドライバドリル DF487DRGX
39	クリッパー	1個	活線ボルトクリッパー ZBC450
40	マエストロS	2個	ALTERIA
41	カラビナ	20個	CMC プロシリーズ アルミキーロックカラビナ 300221
42	アッセンション	左用 2個 右用	ALTERIA ペトルフットテープ(C47A)セット

		2個	
43	万能斧	2丁	トップマンとび
44	媒介金具（同径）	各1	呼び65差込メス・差込メス 呼び65差込オス・差込オス
45	媒介金具（異径）	各3	呼び65差込メス・40差込オス 呼び65差込メス・50差込オス
46	媒介金具（異径）	各3	呼び50差込メス・40差込オス 呼び40差込メス・50差込オス
47	地上消火栓用キー	1丁	呼称40及び20両用（立上がり消火栓用）
48	燃料携行缶	3缶	5リットル用
49	泡消火薬剤（CAFS用）	10缶	CAFS専用20リットルポリ缶
50	CAFS用消泡剤	1缶	一斗缶タイプ・スプレータイプ（各1個）
51	LED自発光矢印板	2個	ポータ工業 PYG-L10
52	LED合図灯	2本	ポータ工業 TRL-2N
53	ジャバラコーン	8個	ポータ工業 PCS-70PW
54	安全チョッキ	5着	ポータ工業 LED自発光チョッキ RV-3CE
55	フルボディーハーネス	5個	ベツル製（アバオポッドクロールファスト） フルハーネス用（アブソーバー付き安全帯フック） サイズ1
56	安全帯	5個	（新基準適合）アブソーバー付き
57	防火用シート	2枚	サルベージシート3号
58	ライフジャケット	10着	NRS ラピッドレスキュー（ネーム入り）別途指示
59	ヘルメット	10個	NRS ハボックライブリー（ネーム入り）別途指示
60	救命浮環	2個	P-230K
61	水難用スローバッグ	2個	スローバック JP モデル J00025
62	シート	1式	トリアージシートOE
63	ラムファン	1個	GX200パワーストリーム（水噴霧アタッチメント付）
64	ジェットシューター	4個	テイセンジェンフォ
65	熱画像	1個	FLIR K55
66	複合ガス検知器	1個	XP-302M-R-A-4
67	油・液体吸着材	10袋	ACライト10kg袋
68	リコー	各1	WG-6（アクセサリ）プロテクタージャケット カメラケース・大容量SDHCメモ리카ード ワイドコンバージョンレンズDW-5

69	キャノン	各1	EOS KISS X10i ダブルズームキット スピードライト470EX AI・ (EF-Sズームレンズ) EF-S10-22mm F3.5-4.5USM 予備バッテリー (LP-E17)・SDHCメモ리카ード
70	ベルト荷締機	5本	ベルト幅25mm・ベルト長さ5m以上
71	工具 (TONE製)	各1	クロスリムレンチ 331M・クロスリムレンチ 334M・ エアーインパクトレンチ (ショートタイプ) AI4200・ インパクト用薄型ロングホイールナット (ホルダー付) HA404LLN・インパクト用薄型ホイールナットソケット セット (ホルダー付) HA404N
72	絶縁工具セット	1式	KTC ZTB311V
73	工具セット	1式	TONE TSX950 (レッド)
74	ペリカンケース	各3	1507Air・1400Protector
75	ドローン	1式	DJI Mavic3 Thermal (JP) SP バッテリーキット PART-05 ライブストリーミングエンコーダー

